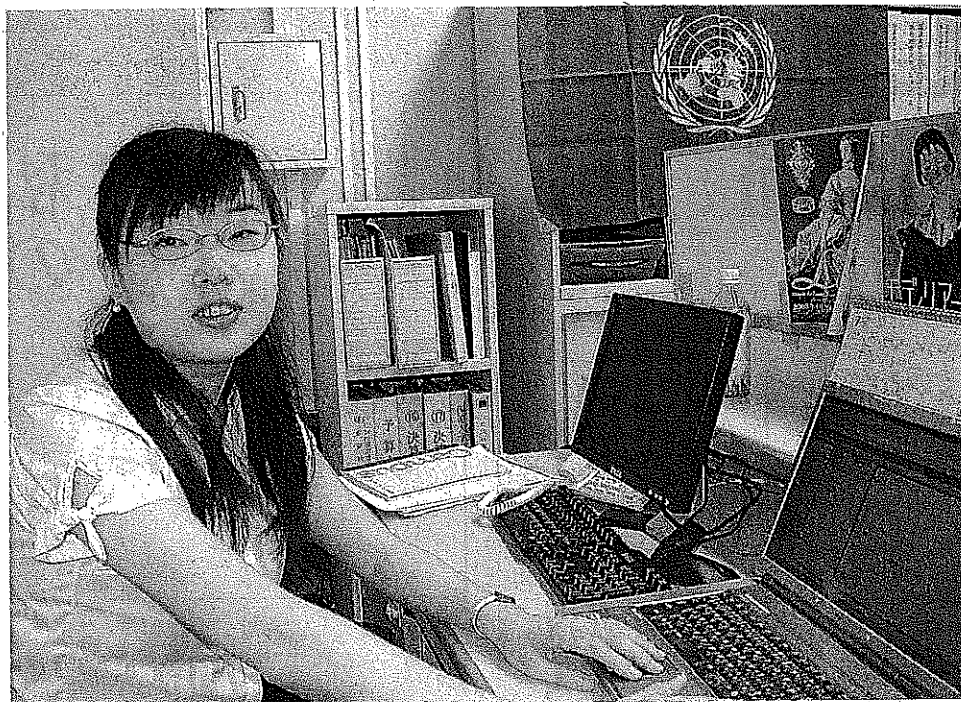


国連大学高等研究所ユニットの職員

尾崎 瑠衣 さん 28



金沢市に今春開設された研究機関「国連大学高等研究所」いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット」で、6月から事務全般を担当している。国連大学など秋に金沢で行うセミナーの

英留学の経験生かす

準備や、里山・里海研究に取り組むユニットの広報活動に追われるが、「新しい世界に投げ込まれて毎日が勉強」と

充実感があふれる。今年1月に帰国するまで約4年半、英国の大学・大学院で国際政治や欧州史などを学

後、2003年から留学。現地では学生寮に住んだ。「キリスト教徒とイスラム教徒の友達が率直に宗教について議論するのを、わきで聞いていた。毎日が発見だった」と振り返る。

んだ。修士論文で英政府とロイヤル・バレエ団の関係をテーマにするなど芸術への造詣も深く、文化の薫り豊かな金沢暮らしは「ラッキー」と感じている。

ひと模様

(毎週月曜掲載)

幼いころから文学少女。10代後半は、古代ローマを描いた塩野七生や豊富なロシア経験に基づいた米原万里の作品をよく読んだ。「日本とは別の視点を持ったもの」に着かれた。立教大で日本文学を専攻

介する計画も温めている。休日には、美術館巡りではつと一息。金沢21世紀美術館で開催中の「ロン・ミュエック展」では、「人間の存在の孤独さや、生きることの重みを感じて心を動かされ」、涙がこみ上げた。そんな豊かな感受性で、石川と世界をつないでいく。

◇おさき・るい 東京都出身。立教大文学部卒。ロンドン大キングスカレッジ大学院修了。熱心なバレエ・ファンで、ロンドンでは立ち見席で週に7公演見たことも。

(遠藤富美子)